血中ステロイドプロフィル確認しませんか

LC-MS/MSなら

- 少量の検体から多項目を同時測定できます。
- 特異性に優れており、偽陽性がありません。
- 低濃度の精度・正確度が格段に優れています。

血清0.1 mLで25項目（ Classical pathway + Back door pathway ）
プラス0.1 mLで最大31項目のステロイド測定が可能。
エストロゲンはプラス0.2 mLで超高感度測定が可能

ステロイドプロフィルの確認が推奨される疾患例

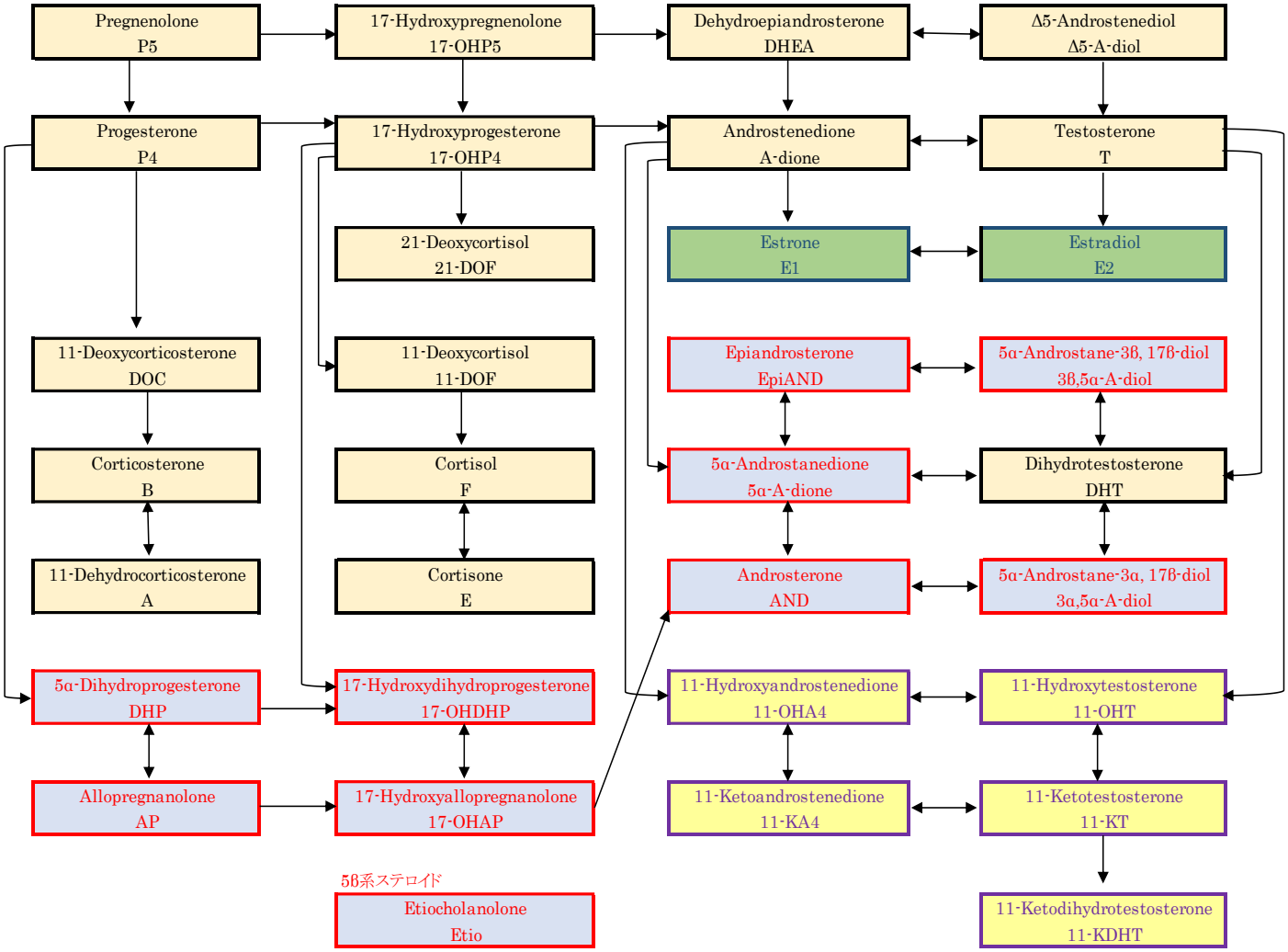
先天性リポイド過形成症、3β-水酸化ステロイド脱水素酵素欠損症、21-水酸化酵素欠損症、11β-水酸化酵素欠損症、17α-水酸化酵素欠損症、P450オキシドレダクターゼ欠損症、5α-リダクターゼ欠損症、性分化疾患、思春期早発症、PCOS、副腎癌およびその疑いのある症例。

測定項目セット例
Classical pathway　16項目
Classical pathway ＋ Back door pathway 25項目
＋　11-Oxygenated C_{19} steroids 計 31項目
超高感度エストロゲンセット　2項目

株式会社あすか製薬メディカル

測定可能なステロイド

監修：慶應義塾大学医学部　小児科学教室
教授 長谷川 奉延 先生



Classical pathway 16項目

Back door pathway 関連　9項目

11-Oxygenated C19 steroids 関連 5項目

超高感度エストロゲン　2項目

（濃度の低い検体においては定量下限未満となる可能性があります）

株式会社あすか製薬メディカル

お問い合わせ

受付時間：月～金曜日　9:00～17:35
土日・祝祭日・年末年始等を除く

電　話：0466-77-8336
メール：kensa-med@ap-med.co.jp
ホームページ：https://www.ap-med.co.jp/

2021年12月作成